

さあ、ボランティアを始めよう。

創刊号  
Vol.1

い く た ぼ ら

# 生田ボラ

『好き』  
をカタチに  
しよう。

生田ボランティアセンター(通称:生田VC)は、「ボランティアがしたい」という皆さんの思いを支援する為の場所です。好きなことや関心のあることがあり、それについて「自分で」何かしてみたいという気持ちのある方はぜひ訪れてみてください。



ボランティアを  
『楽しもう。』

ボランティアは様々な活動ができます。自分にあった楽しい活動を「創造」していくことができます。

# 生田キャンパスで活躍するボランティア団体

生田VCで活動する団体を紹介します。生田キャンパスには、里山班やエコキャップ班など主に環境をテーマに活動している団体が多いです。また、震災班やLINKsのように別の視点を持った団体もあり、各班が様々な取り組みを行っています。

同じ志を持つ仲間を見つけて、皆で活動することもボランティアの醍醐味です。

## 里山班

里山班では、生田キャンパスに残る多摩丘陵の里山保全活動をしています。特にキャンパス西斜面の小川周辺で活動していて、植生管理や生きもの調査、植物調査をしています。それだけではなく、他の里山に行ったりして様々な管理体系を学んでいます。

生物がたくさん生息する里山の環境に近づくよう目指しています。

植生管理や調査など活動をするときは、一般参加者も募集しています。

自然が好きな方や、何か新しいことがしたい方は是非ご参加ください。



## エコキャップ班

私たちエコキャップ班は、環境問題や国際問題について考えています。その一つ目としてエコキャップを題材に、ペットボトルのキャップを再利用する工程やワクチンが届けられるまでの流れを調査しました。今後はさらに視野を広げ、活動していく予定です。

スタッフを随時募集中ですので、興味のある方はぜひお越しください。



## 震災班

震災班は、3月11日の東日本大震災を受けて、今年新しく発足しました。3月と4月に募金活動をしたり、オープンキャンパスでは震災に対する意識の低下を防ぐための声掛けをしました。今後は、被災地の復興支援のほか、これから発生する震災を見据えた防災について取り組んでいく予定です。

震災班では一緒に活動していく仲間を募集しています。



## LINKs

LINKsは、昨年度発足した大学公認ボランティアサークルです。生田キャンパスを中心にゴミ拾い等を行っている他、メンバーそれぞれがどこからか見つけてくる様々なボランティア活動や環境活動に取り組んだり、サークルでボランティアイベントを企画したりしています。

ボランティアの仲間が欲しい人  
環境問題に関心がある人  
ボランティアの可能性を探りたい人 等々。  
興味をもってくれた方はまずはゴミ拾いに参加してみてください。

# 2011年度上半期活動レポート

4月

## 『工場見学』/エコキャップ班

キャップがリサイクルされ生まれ変わる過程について深い理解を得ることができました。

## 『たけのこ掘り』/里山班

竹林管理の一環として、たけのこ掘りを行いました。

5月

## 『作業道作り』/里山班

今後の活動のために、小川周辺の作業道を作りました。

## 『春のボラ WEEK』

昨年度の活動展示だけでなく、一般生参加型の行事も開催しました。



6月

## 『オオブタクサ除草』/里山班

外来種オオブタクサの除草を行いました。

7月

## 『初級ボランティア講座』

井出和夫氏を講師に迎え、数々の体験談とともにボランティアへの心構えについてお話し頂きました。



「ボランティアというより自分のやりたいことをやってきただけ。」「ボランティアをやってあげているという気持ちはNG」「失敗を恐れずに、自分のできる範囲でやることが大事。お話の内容は、これから活動をしていくすべての人の心に響くものでした。」

## 『堆肥場の整備』/里山班

堆肥場周辺の保全活動を行いました。

8月

## 『竹林整備』/里山班

里山班の竹林管理の一環として農学部裏の竹林の整備を行いました。また、間伐材を利用して皆で素麺台を作り、各自竹箸や竹



の器を製作し、昼食を楽しみました。午後からは突然の大雨に見舞われ予定を変更し、屋内で竹細工を行いました。

## 『活動紹介 in オープンキャンパス』

各班合同で学生が取り組むボランティアについての紹介をしました。当日は多くの来場者で賑わいました。エコキャップ班特製のキャップで出来たオセロ盤が高校生に大人気でした。



9月

## 『刈り草置き場作り』/里山班

竹の間伐材を使って、刈った草を入れる場を作りました。

## 『ボックス調整』/エコキャップ班

キャンパス内のエコキャップ BOX の調整を行いました。

10月

## 『外来種除去』/里山班

オオブタクサを除草し、植生管理計画に則り一部の草丈を低くしました。

## 『キャップの受け渡し』/エコキャップ班

皆さんの協力によりたくさんのペットボトルキャップが集まり、業者に受け渡すことができました。

## 『生田清掃運動会』

雨天延期になってしまいましたが、駿河台から参加してくれた学生さんを交え総勢 14 人で生田キャンパスから



生田駅までの清掃を行いました。前年度の清掃時よりゴミが減っていたという意見があった一方、たばこの吸い殻が多く見られ、歩きたばこをする人が多いのではという意見が挙がっていました。この活動を通じて自分の通学路について気になった方も多く見受けられました。



# 今後の活動

11/18~20

『生明祭』@学生会館1階(めん処)

- ・体験  
竹箨に装飾したり、木の枝や葉っぱを使った工作ができます。ミニ気球を作るコーナーもあります。作ったミニ気球は登戸研究所に展示されます。
- ・ツアー  
里山班が植生管理をしている小川へ探検に行きましょう。
- ・展示  
各班の活動を紹介します。

そのほか、楽しい企画をまだまだ用意していますので当日はぜひ立ち寄ってみてください。

11/28

川崎市公園緑地協会主催『2011年花と緑の交流会』に参加。

里山班が活動紹介の展示を行います。

12/23

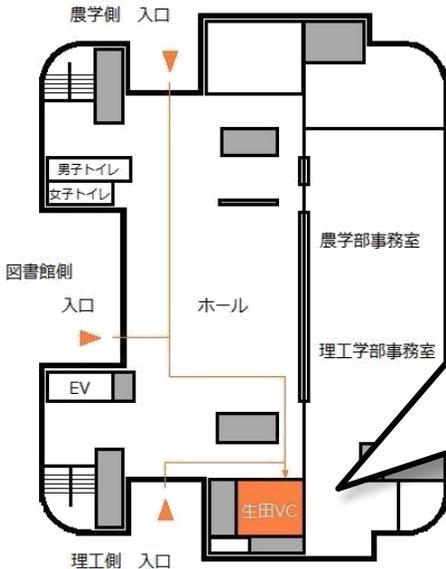
菅子ども文化センター主催行事にエコキャップ班が参加。

12/26~27

『第9回全国大学生環境活動コンテスト(eocon2011)』に参加。

里山班の1年生が活動発表を行う予定です。

<中央校舎 1階>



まずは生田ボランティアセンターに行こう。

【開室時間】  
 月曜日~金曜日 10:00~18:00  
 土曜日(隔週) 8:30~12:00



入口はこちら。  
皆様のご来訪をお待ちしております。

## 次号

生田ボラVol.2は  
4月初旬発行予定。  
お楽しみに。

## 【編集後記】

「生・ボラ」を読んでもう一度ありがとうございます。生田VCの活動について、少しでも知って頂けたでしょうか。  
 この創刊号は、生田VCの職員さんを始め、各団体の代表者の皆様、学生さん。と、様々な方の協力により発行に漕ぎつけることができました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。そして不甲斐ない私を、叱咤激励し助けてくれた、大切な後輩にもお礼を言いたいと思います。ありがとうございます。今、この広報誌に携わり最後の作業としてこの編集後記を書いていることを大変嬉しく思っています。/北村

いつか終わるはずだと思っていたけれど、本当に終わるとは思いませんでした。この感覚。受験時代を思い出します。この制作のおかげでパソコンスキルがだいぶ上がりました。でもブライントタッチはなかなかできるようになりません。画面とキーボードをひたすら目で復讐します。首が痛いです。/小森谷

2011年11月28日 発行

【編集】明治大学生田ボランティアセンター 広報担当

【発行】明治大学 生田ボランティアセンター

〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1

TEL: 044-934-7547

MAIL: mcvkuta@isc.meiji.ac.jp

URL: <http://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/facility.html#ikuta>